

日高の野菜・花き生育情報


新冠町・新ひだか町・浦河町・様似町・えりも町
《8月中旬～9月上旬》


令和4年8月15日発行
第2号
日高農業改良普及センター本所
Tel：0146-42-1489
Fax：0146-42-2521

【作物共通】


- ①8月のハウス内環境は高温で経過する日が多く、葉やけ、落花、日焼け果などの高温障害が発生しやすくなります。そのため、側窓、妻窓、天窗や換気扇等を活用して換気に努めるとともに、かん水管理を適切に行いましょう。遮光資材の利用は、栽培品目に応じて遮光率を選択するが、曇天時の被覆は避け、過度な遮光による収量、品質の低下を防止しましょう。
- ②8月後半からは夜温が下がり始めるため、夜間はハウスを閉め切ることが多くなります。ハウス内の湿度が高まり病害が発生しやすくなるため、朝に十分換気しハウス内のモヤ抜きを励行しましょう。モヤ抜きは雨天時でも行いましょう。
- ③例年、台風による暴風、大雨の被害がみられます。台風の接近に備え、あらかじめ防風網の点検、ハウスの修理・修正、バンドの締め直し、支柱や筋交いの補強、ハウス周辺の排水溝を掘り下げるなどハウスの防災環境を整えておきましょう。
- ④セイヨウオオマルハナバチを導入しているハウスは17～30℃の範囲で温度管理し、使用済みの巣箱の最終処分も確実に行いましょう。
- ⑤高温時の薬剤散布は薬害を生じやすいため、高温となる時間帯を避けて夕方に散布を行いましょう。

【野菜】

作物名	生育状況・管理のポイント	病虫害・生理障害等
ピーマン 無加温半促成 品種：みおぎ	<ul style="list-style-type: none">・生育は概ね順調ですが、一部花落ちが上位段でもみられます。・作業は主枝 12～15 節目の収穫、整枝が行われています。・着果負担により草勢が弱まり、短花柱花などが見られています。適期収穫、適切なかん水や追肥を実施しましょう。	<ul style="list-style-type: none">・ハダニ類、アブラムシ類、アザミウマ類、灰色かび病などの発生が見られます。  <p>【ハダニ類が葉裏に寄生し、葉表は葉脈間が黄化】</p>

<p>ミニトマト 7月定植 品種：キャロル10</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 生育は概ね順調で、主枝第2～3花房開花期です。 • 作業は誘引、芽かき作業が行われています。 • 30℃以上の高温は着果不良や落花を誘発します。遮光資材の利用やかん水管理を適切に行いましょう。 • 多湿条件下では、病害の発生が懸念されます。換気の実施や葉の持ち出しなど、ハウス内の整理も行いましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 一部ほ場で斑点病の発生が確認されています。観察と防除に努めて下さい。  <p>【初期症状の小斑点】</p>
<p>いちご 夏秋どり (高設栽培) 品種：すすあかね</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 生育は概ね順調です。 • 作業は収穫、摘葉、摘果、ランナーの除去、収穫後の果房除去などが行われています。 • 秋季収穫に向け、1株あたり20～25葉の展開葉を確保し、弱小花房の除去を行いましょう。 • 夜温18℃以上では果皮軟化が誘発されます。天候に応じて側窓を調節し、ハウス内の温湿度管理に努めましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 一部ほ場でハダニ類、アザミウマ類、灰色かび病、うどんこ病が見られます。  <p>【うどんこ病による果実への被害】</p>

【花き】

作物名	生育状況・管理のポイント	病害虫・生理障害等
<p>デルフィニウム ハウス作型</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 生育は概ね順調ですが、高温の影響により生育が早まっています。 • 作業は順次、定植～採花が行われています。 • 高温多湿は株を弱める原因になります。多湿にならないよう、ハウスの透排水性に合ったかん水を実施し、換気は適切に行いましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 一部で灰色かび病、うどんこ病、ハダニ類などの発生が見られます。また、高温の影響により花卉の赤みが見られます。  <p>【高温による赤み】</p>

★農薬を使用する場合は、必ず使用基準を守りましょう★